

道 徳 学 習 指 導 案

4年1組 31名 指導者 京 田 憲 子

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 問い直す活動において、対話活動を行う際、抽象的な課題を与え、教師が効果的な発話をすることで、道徳的価値についての理解を深めることができたか。
- 振り返る活動において、「心のノート」や日記を活用することで、これまでの体験を想起し、主体的に自分とのかかわりで考えることができたか。

1 主 題 名 真心の美しさ（資料名「花さき山」〈読み物－東京書籍〉）

2 ね ら い

美しい心の世界に触れ、美しいものや気高いものに感動し、尊重しようとする心情を育てる。

（3－③ 敬虔）

3 主題について

(1) 主題の価値

本主題は、3－③「美しいものや気高いものに感動する心をもつ。」で、美しいものや崇高なもの、人間の力を超えたものとかかわりに関するものであり、それらに対して感動する心や畏敬の念をもった子どもたちを育てようとする内容項目である。

これは、低学年3－③「美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。」からつながり、高学年3－③「美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。」に発展するものである。

この内容の「美しいもの」とは、自然がつくり出す現象・景観、よりよく生きようとする心・行為、絵画や写真・映像の美しさ、音楽の美しさなどである。また、「気高いもの」とは、高度に純化された心、人間の説明を越えたものなどである。さらに、「美しいものや気高いものに感動する心」は、美しいもの、気高いもの、崇高なものにかかわり、それらにあこがれたり、追い求めたりする中で培われていくものであると考える。

第4学年の子どもたちは、想像する力や感じる力がより豊かになってきている。また、現代社会において、子どもたちが美しいと感じるものは、たくさんあり、体験もしている。しかし、様々な情報が溢れ、本当に美しいものや気高いものが見えにくく、感じ取りにくくなっている。

そこで、美しいものに触れて素直に感動する気持ちや、気高いものに出合ったときに尊重する気持ちなどを子どもたちの心の中に育てていくことは、大変意義のあるものとする。

(2) 子どもの実態について

平成25年4月18日 調査人数31名

① 最近感動したことに、どのようなことがありますか。【体験】（複数回答）	
・ テレビ番組・映画の内容から（8）（シュガーラッシュ・逃走中・ワンピース）	
・ 優しい声掛けをしている友達を見た（4）	
・ スリッパを並べている人を見た（2）	
・ 本の内容から（モチモチの木、ごんぎつね、メリダとおそろしの森）	
〔その他〕「親は子どものことを大切にしている」と言う言葉	
② 「美しい心」とは、どのような心だと思いますか。【価値についての理解】	
・ 優しい（27）	・ 一生懸命頑張る（9）
・ 人のために何かをする（7）	・ 諦めない（4）
・ 人を守る（3）	・ 家族を思う（2）
〔その他〕相手のことを考える、素直、感動できる、命を大切にする。	
③ 「美しい心」をもっている人は、誰ですか。【体験との関連】	
・ 学級や学年の友達（個人名）（33）	
→ 優しい、一生懸命、明るい、笑顔、進んで仕事をする。	

・家族 (3)

→ 仕事を頑張っている。家族のことを思っている。

〔その他〕 西郷隆盛、先生、アニメキャラクター

①から、友達の行動や自分の読んだ本、見たテレビ等から感動していることが分かる。その多くは、人に優しくしたり、人のために何かをしている場面である。

②から、「美しい心」とは、「優しい」や「人のために何かをする」等、感動した場面に描かれている人物のもっている心である場合が多い。

③から、学級や学年の友達の名前を人名で書いている子どもが多いため、「美しい心」は、架空の人物がもっているものではなく、子どもたちの身近にあるものと考えられる。

そこで、本資料「花さき山」をもとに、「美しい心」とは何かについて考え、「美しい心」をもつことの素晴らしさを感じ、自分自身の中にも「美しい心」があることに気付くことができるようにしたい。

4 展開に当たって

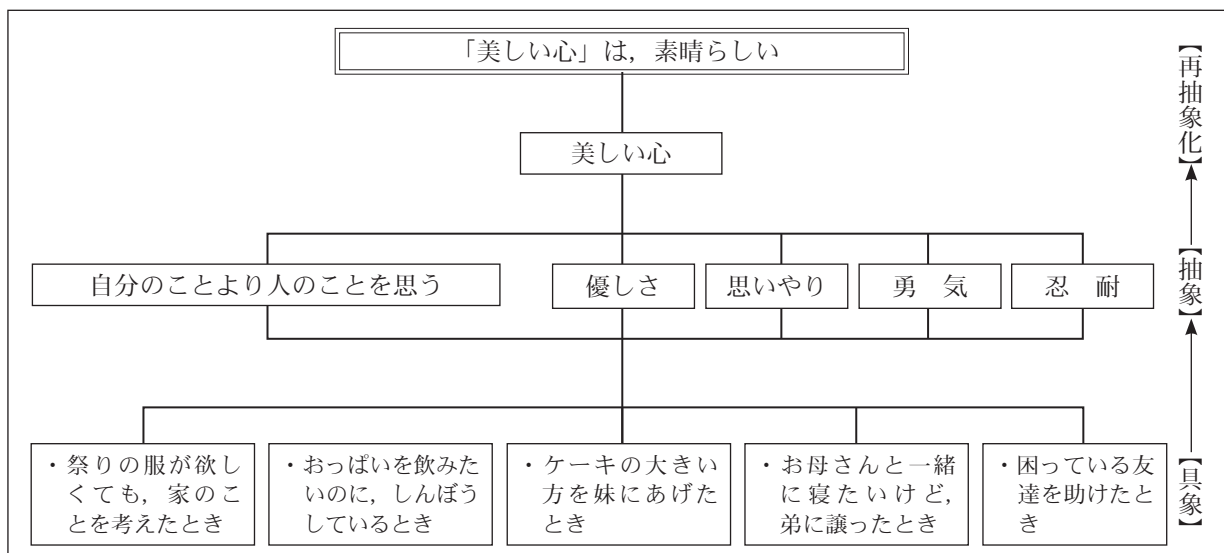
「見つめる」活動では、「花さき山」に出てくる花を見せ、花が咲く理由を考えさせることで、子どもたちの問題意識を高めることができるようにする。

「問い直す」活動では、ブラックシアターで資料を提示することにより、子どもたちの関心を高め、花が咲くことの美しさに気付くことができるようにする。資料提示後、まず、資料の中で花が咲く場面を押さえる。次に、どのようなときに花が咲くか、今までの体験と結び付けながら、ワークシートに記入させる。さらに、グループでの対話活動を行うことで、それぞれの体験に共通する「心の美しさ」に気付くことができるようにする。その際、教師が意見の理由や根拠を明確にさせたり、反例をあげて意見の妥当性を問うたりする発話をするすることで、対話活動が深まるようにする。また、子どもたちにも発話の例を示すことで、対話活動が深まるようにする。最後に、グループで考えたことを発表し、全体での対話活動を行う。その際、子どもが中心となって追求する課題に迫ることができるように、短冊黒板を使って板書を構成する。

「振り返る」活動では、今日の学習を振り返り、「美しい心について考えたこと」「これまでの自分とのかかわりで考えたこと」「これからの自分の生き方について考えたこと」の3つの視点を与え、今までの自分を振り返ることができるようにする。その際、事前アンケートや日記を手元に置き活用することで、自分の変容に気付くことができるようにする。

「あたためる」活動では、保護者からの手紙を読ませることで客観的に自分自身を見つめさせ、自分も「美しい心」をもっていることに気付くことができるようにする。

5 子どもの思考



6 本時の展開

〔 〕 子どもの意識

□ 指導の手立て

※評価

活動	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等
見つめる	3	みんなで	1 「花さき山」に咲く花を見て考える。 〔・きれいな花だな。〕 〔・どうして、咲くのだろう。〕 □ どうして、花がさくのだろう。	進行カード ブラックシアター
問 い 直 す	29	一人で グループで みんなで	2 資料「花さき山」を開き、話し合う。 (1) 「花さき山」の花が咲くのは、どのようなときだろう。どうして、花が咲くのだろう。 〔・祭りの服が欲しくても、妹や家のことを考えているとき。→自分のことより、人のことを思っているから。〕 〔・おやつのおいしい方を、妹に渡したとき。→優しいから。〕 (2) 「一人で」考えたことをもとに、「グループで」話し合う。 〔・自分のことよりも、人のことを考えているから。〕 〔・優しいから。〕 〔→美しい心をもっているから。〕 (3) 「グループで」話し合ったことをもとに、発表する。 〔・美しい心が、花を咲かせるんだな。〕 〔・美しい心は、素晴らしいな。〕	挿絵 ワークシート 日記 グループ進行カード
振り返る	10	一人で	3 今日の学習で、気付いたことを振り返る。 〔・人の心は、美しいな。〕 〔・これからも、美しい心を見付けたいな。〕 〔・私も、花を咲かせたいな。〕	ワークシート
あたためる	3	みんなで	4 保護者からの手紙を読む。 〔・私も、美しい心をもっていたんだな。〕 〔・これからも、美しい心を大切にしていきたいな。〕	BGM手紙

「花さき山」に出てくる花を見せ、花が咲く理由を考えさせることで、子どもたちの問題意識を高めることができるようにする。



「花さき山」の花が咲いている様子の挿絵を提示することで、どのようなときに花が咲くか理解できるようにする。



グループ進行カードを渡すことで、対話活動をスムーズに行うことができるようにする。また、「たとえば」「でも」「やっぱり」などの言葉を使って対話するよう助言することで、子どもたちの思考が深まるようにする。

対話活動の際、子どもたちの思考を深めるために、子どもの言葉を共感的に受け止めたり、反例をあげたりする。



「グループで」の対話活動の後、代表の子どもにグループの考えを発表させ、「みんなで」練り上げていく。その際、短冊黒板を活用することで、共通することを考えさせる。

※ 「振り返る」活動における子どもの考え方を机間指導において次の視点で評価する。

ア 道徳的価値についての理解をより深めることができたか。
イ これまでの自分とのかかわりで考えることができたか。
ウ これからの自分の生き方について考えることができたか。

子どもたちが、自分の変容に気付くことができるように、一番身近な保護者からの手紙を読む。

